図書館の窓から

4
2012.4
No.136



（ムスカリ　田中 玉蘭／画）

花言葉は寛大なる愛、明るい未来、通じ合う心、失望、失意とまるで正反対の意味がある。苦しいことを乗り越えた先には喜びがあるように、幸せと不幸は表裏一体であることを教えてくれる。

【特集記事】

◆私の一冊
山本五十六記念館展示企画委員長　古田島吉輝 さん……３ｐ

◆そうだ、図書館へ行こう！長岡図書館マップ
市内各図書館と取次所を紹介…… ４～５ｐ

館長通信

～ 限りなき読書への挑戦 ～

山のようにあった雪がようやく消え、待望の春がやって来ました。この季節“春眠暁を覚えず”という言葉がありますが、無性に眠くて、特に読書をしていると、いつの間にか頭を垂れてしまいます。

春と言えば新学期がスタートします。学校生活が落ち着き始めると、各小学校の主に３年生が見学のために図書館を訪れます。どの子もあれこれと興味を示すので、図書館職員も案内に熱がはいります。その際に、必ず図書館の蔵書数を説明します。中央図書館は約40万冊、市内全図書館の合計は約85万冊と。

あるとき、もう少し児童にわかりやすい説明ができないものかと考えていたところ、面白いことに気づきました。中央図書館の40万冊を単純に平積みするとします。富士山より高くなるでしょうか。１冊当たりの厚さを平均２㎝とすれば、何と８千ｍです。富士山どころかエベレストと同じ高さになるのです。

また、皆さんは40万冊を一生涯かけて読破できますか。１日10冊読んで年間３千650冊、100年で36万５千冊です。それほど図書館の蔵書数は膨大です。

完全読破は無理であっても、皆さん、限りなき挑戦として、大いに図書館を利用し、より多くの本を読んでみてはいかがでしょうか。

（前館長　小倉　進）

文書資料室だより

長岡市史双書 ～歴史資料から郷土の歴史をよむ

平成10年4月に開室した文書資料室。長岡市史編さん室から引き継いだ様々な業務の一つに、長岡市史双書の編集・発行があります。

市史双書は、『長岡市史』本編に収録できなかった特色ある歴史資料を紹介するものです。平成22年度に№50を発行。江戸時代の古文書を読みやすく活字化した史料集が中心です。

例えば、№４・46・47・50、そして、平成23年度刊行の№51でシリーズ5冊目となる「安禅寺御用記」は、江戸時代の長岡の歴史を概観できる古文書群を紹介しています。現在まで「安禅寺御用記」106点のうち20点を活字化。全てを刊行するまで、息の長い仕事になりますが、戊辰戦争・長岡空襲により多くの文化遺産を失った長岡市にとっては、宝箱のような歴史資料集です。

市史双書のリストは、文書資料室のホームページで見ることができます。そのため、最近は、市外・県外からの購入希望も増えています。人気が高いのは、地図・絵画等の図版を掲載しているもの、小林虎三郎・三島億二郎・山本五十六などの人物を扱ったもの、長岡藩の家臣団名簿や長岡の寺院・神社・仏堂などを収録したデータベース的な内容のものです。また、№48・49『新潟県中越大震災と史料保存』は、『国立国会図書館 月報』№599（平成23年2月発行）で、「（歴史資料の）救済活動が地域の再生、再認識につながっていることも感じ取れる」、「図書館員や文書館員は一読しておきたい書」と紹介されました。

市史双書発行の目的は、広く市民に親しまれる内容で、郷土に対する愛着の気持ちをいだいてもらうためと、大切な歴史資料を後世に継承し、あわせて、文化・教育の向上に役立てることです。　今後も市民の興味・関心をふまえながら、文書資料室のライフワークとして刊行を継続していきたいと考えています。　（田中　洋史）



▲長岡市史双書№45
『山本五十六の書簡』

平成18年度に刊行後まもなく品切れに。市民からの要望と映画化を記念して再版しました。各図書館・文書資料室・栃尾美術館・戦災資料館・山本五十六記念館などで購入可能（頒布価格1,500円）。郵送での頒布可。詳しくは、HP、または直接お問い合わせください。

私の一冊

山本五十六記念館展示企画委員長
古田島吉輝 さん



『堀悌吉　評伝』芳賀　徹ほか／著
『堀悌吉資料集　第１、２巻』堀　悌吉／著
ともに（大分県先哲叢書）
大分県立先哲史料館／編
大分県教育委員会／発行

昭和初期の激動の時代に、国を愛し誠実に生きた山本五十六の実像を、後世に伝えた人として、堀悌吉に勝る人はいないと思います。

悌吉と五十六の出会いは、広島県江田島にあった海軍兵学校でした。入学試験を２番で合格した高野（後山本）五十六は、１年生の前期試験で失敗し、精神的に大変落ち込んだようです。その折、大分県出身の悌吉に出会い、無二の親友となりました。

２人は明治37年（1904）日露戦争の最中に卒業し、日本海海戦に参戦。悌吉は戦艦三笠に、五十六は装甲巡洋艦日進に搭乗を命じられました。ともに連合艦隊の第一艦隊に所属し激しい砲火にさらされました。五十六は重傷を負い、悌吉は大海戦の悲惨さを目の当たりにしました。

昭和９年（1934）12月、悌吉は軍縮条約締結に熱心な人物と見なされ、51歳で予備役に編入されました。五十六は悌吉のような海軍の逸材でもある人物を追放する日本海軍に絶望し、自分も辞めると言い出しました。それを引き止めたのが悌吉でした。二人の人生はここで大きく分かれました。

悌吉は民間人となり、五十六は海軍に残り、海軍次官、連合艦隊司令長官となって国防の重責を担い、意に反して戦端を開き、満59歳で戦死しました。

山本五十六記念館の展示企画の手伝いをして既に９年目となった平成18年に、大分県先哲史料館から『堀悌吉資料集第１巻』が刊行されました。その中に、『五峯録』が収載されていました。五十六が英米との戦いに身命を賭して反対していたことやなぜ真珠湾攻撃だったかも目から鱗が落ちるように分かりました。翌年には『堀悌吉資料集第２巻』が刊行。そして、難しい資料を踏まえた『堀悌吉　評伝』が、平成21年に刊行されました。五十六を支え、大きな影響を与えた悌吉の全体像を知るこの上ない書籍です。

悌吉は日本海海戦に従軍し、戦争は悪であり凶であることを痛感します。心の友五十六が戦死し、日本が亡んでいくなかで、自らの能力を発揮できなかったことへの悌吉が抱いた無念さを痛々しいほどに感じました。評伝には急遽、新発見の資料も附加されました。その一つが「山本氏との別れ」です。昭和16年12月４日、横浜駅プラットホームでの面会が最後でした。この時の会話が記されていて読むたびに胸が締めつけられる思いがします。

●●こだじま　よしき●●
昭和11年　長岡市石内町生まれ
昭和34年以来38年間　小・中学校勤務
平成９年６月～　山本五十六記念館展示企画委員
平成16年～23年３月　長岡戦災資料館館長
平成23年４月～　山本五十六記念館展示企画委員長



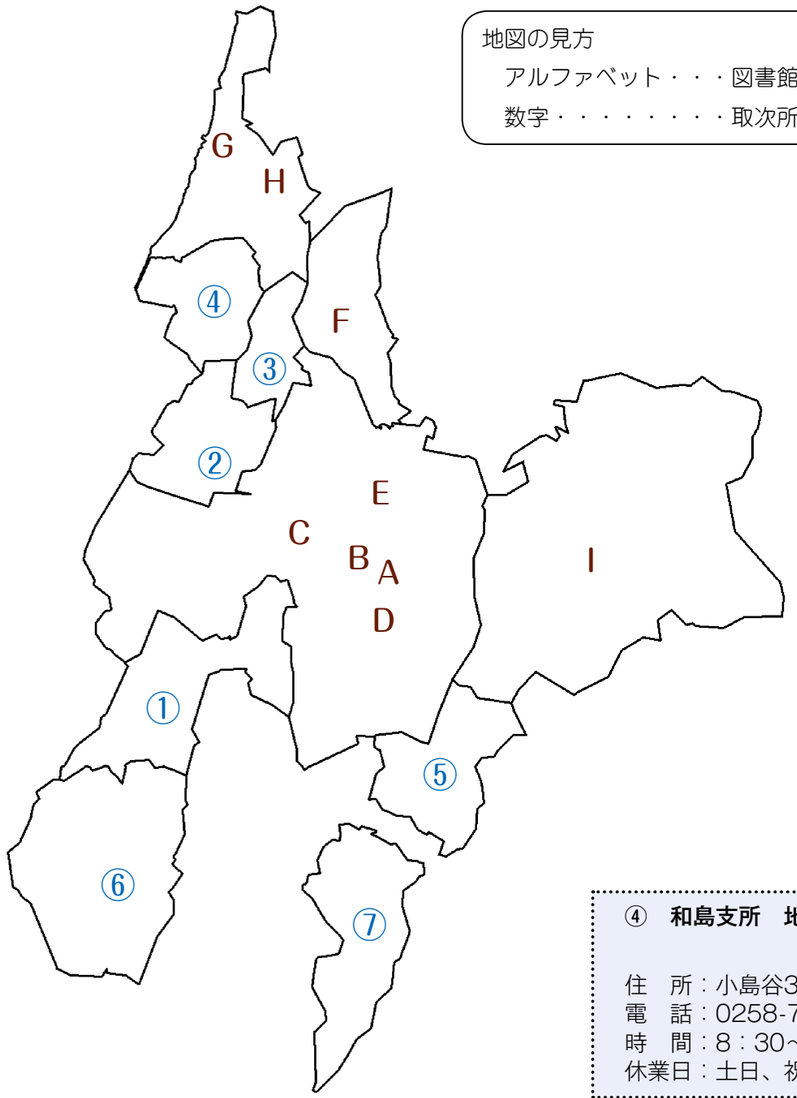
そうだ、図書館へ行こう！

長岡図書館マップ

長岡市内には、８つの図書館と１つの図書室があり、それぞれの館で本を借りたり返したりすることができます。

図書館が近くにない地域には、各地域の支所等に取次所を設置し、予約した本の受け取りや、本の返却ができます。

本の予約は、各図書館や取次所、WEB・携帯サイトからでもできます。旅行のガイドブックやベストセラーの本、料理や裁縫、野菜の育て方の本etc・・・たくさんの本が皆様の利用を待っています！



地図の見方
アルファベット・・・図書館・図書室
数字・・・・・・・・取次所

A　中央図書館



蔵 書 数：約40万冊
開館時間：9：30～19：00
特色資料：美術資料
　　堀口大學コレクション　他

B　互尊文庫



蔵 書 数：約5万6千冊
開館時間：9：30～20：00
特色資料：非核・平和

C　西地域図書館



蔵 書 数：約6万6千冊
開館時間：9：30～20：00
特色資料：昔話・信濃川

D　南地域図書館



蔵 書 数：約7万2千冊
開館時間：9：30～20：00
特色資料：醸造・ユニバーサル文庫

E　北地域図書館



蔵 書 数：約6万8千冊
開館時間：9：30～20：00
特色資料：花火・花と緑

F　中之島地域図書館



蔵 書 数：約3万7千冊
開館時間：9：30～19：00
特色資料：凧

G　寺泊地域図書館



蔵 書 数：約2万8千冊
開館時間：9：30～19：00
特色資料：良寛、北前船、海

H　寺泊地域図書館大河津地区図書室



蔵 書 数：約6千冊
開館時間：9：30～19：00

I　栃尾地域図書館



蔵 書 数：約4万1千冊
開館時間：9：30～19：00
特色資料：水、上杉謙信、錦鯉　他

①　越路保健センター

住　所：来迎寺3697
電　話：0258-92-5011
時　間：8：30～17：15
休業日：土日、祝日、年末年始

②　みしまコミュニティセンター（三島支所内）

住　所：上岩井1261-1
電　話：0258-42-2525
時　間：8：30～17：15
休業日：土日、祝日、年末年始

③　与板支所　地域振興課（市民生活課）

住　所：与板町与板甲134
電　話：0258-72-3102
時　間：8：30～17：15
休業日：土日、祝日、年末年始

④　和島支所　地域振興課

住　所：小島谷3434-4
電　話：0258-74-3111
時　間：8：30～17：15
休業日：土日、祝日、年末年始

⑤　山古志公民館図書室（山古志体育館内）

住　所：山古志竹沢甲2837-1
電　話：0258-59-2339
時　間：8：30～17：15
休業日：土日、祝日、年末年始

⑥　小国総合センター

住　所：小国町新町304-1
電　話：0258-95-3575
時　間：8：30～17：15
休業日：年末年始

⑦　川口公民館

住　所：東川口1979-130
電　話：0258-89-3120
時　間：8：30～21：00
休業日：年末年始

所蔵資料紹介　No.132　　斎藤　博　書（七言絶句）

斎藤博は著名な外交官で、明治19年（1886）岐阜で生まれました。祖父は戊辰戦争に参加し、父は英語教師で、各地を転勤するという家庭で育ちました。

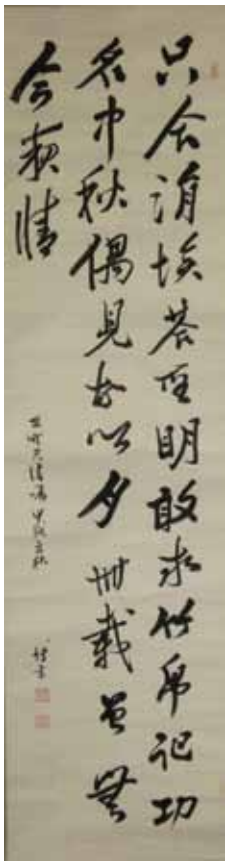
東京に定住するようになると、祖父と共に夏は長岡で過ごし「郷里は長岡」と決めていました。学習院高校、東京帝国大学で学び、抜群の英語力を身につけ、外交官として活躍。一貫して戦争のない姿勢で臨みましたが、軍部の強い流れを変えることはできませんでした。

昭和14年（1939）心労が重なり米国のホテルで亡くなります。米国大統領は国賓として斎藤博の遺骨を軍艦で日本に送り届けています。

今回紹介する漢詩は、昭和９年に所用で帰国した折、反町栄一日本互尊社理事長に所望されて詠んだものです。

「水滴と埃だけで荅（小豆）は目を開くことはない。必ずや（貴方が）竹帛（歴史の書物）にその功名の記されることを望む。中秋の夜たまたま故郷の月を見た。40年未だかつて今夜のような心をもったことはなかった」と。

反町氏は、この時のことを「故郷と斎藤博」という題で講演し、それがラジオで報じられています。（今井 雄介）



只合洎埃荅無明
敢求竹帛記功名
中秋偶見故郷月
冊載曽無今夜情

反町君清嘱　甲戌立秋　博書

注：冊載…四十歳　甲戌…昭和九年

洎埃（けんえん）　荅（とう）は只無明のほかなく
敢（あえ）て竹帛（ちくはく）に功名の記さるるを求む
中秋、偶（たまたま）故郷の月を見るに
四十年曽（かつ）て無き今夜の情（こころ）なり

越後文学さんぽ　～新潟出身の作家をクローズアップ～

小川　未明（オガワ　ミメイ）

1882～1961
中頸城郡高田町
（現･上越市）生まれ。

小説家、児童文学作家。明治38年（1905）『霰に霙』を発表して注目を浴び、40年処女短編集『愁人』を刊行する。さらに新浪漫主義作家として『薔薇と巫女』『魯鈍な猫』などを発表。明治43年童話集『赤い船』を刊行し、それ以降童話の分野で活躍する。代表作に『牛女』『赤い蝋燭と人魚』『野薔薇』などがある。

出典：『新訂 作家・小説家人名事典』日外アソシエーツ



『名作童話・小川未明30選』
小川 未明／著　宮川 健郎／編集　春陽堂書店

小川未明の童話を読むのは、小学校の図書室以来でした。これだけの作品を一度に読んだのはもちろん初めてで圧倒されました。登場人物は日本人ですが、その世界観は西洋的、言い換えると無国籍で、なぜか藤城清治の影絵を連想させます。勧善懲悪的な物語ではなく、読後の余韻を楽しむ、どちらかというと、大人が読んで楽しめる童話なのだと再認識しました。（徳永　馨）

家　族

【かぞく】
family

夫婦とその血縁関係を中心に構成され、共同生活の単位となる集団。（『大辞泉』小学館）

東日本大震災をきっかけに、「家族」のあり方、その重要性を認識した人は多いのではないでしょうか。「家族」の伝統や習慣は親から子へ～過去・現在・未来～と受け継がれていきます。

泣いたり、笑ったり、喧嘩したり－楽しいことばかりではないけど「家族」はかけがえの無い存在です。



『おてて絵本入門』
サトシン／著　小学館

著者が「主夫」の時に生み出した「おてて絵本」。手のひらを絵本に見立て、子どもと一緒に「お話」を作ります。親子の「絆」が深まります。



『戸村飯店　青春１００連発』
瀬尾まいこ／作　理論社

見た目も性格も全く異なる戸村兄弟。弟は身勝手な兄を許せません。しかし…。舞台は「こってこて」の大阪、周りの人々も個性派揃い、とても心が温まります。



『ＮＥＷ　ＬＩＦＥ』
浅田 政志／著　赤々舎

「浅田家」長男の結婚や初孫の誕生など、新しい家族が加わった浅田家。『NEW　LIFE』を楽しむ家族の一瞬を浅田家次男のカメラは愛情たっぷりに捉えています。



『たとへば君』
河野 裕子・永田 和宏／著
文藝春秋

歌人夫妻の出会いから、妻が乳がんで亡くなるまでの40年に及ぶ相聞歌・エッセイ集。発病してから交わされた歌は特に切なく、心の奥底に響きます。



『ふくしまの子どもたちが描く　あのとき、きょう、みらい。』
蟹江　杏ほか／編　徳間書店

地震・津波・原発事故…３・１１を境に生活が激変した子どもたち。厳しい現実の中でも彼らの描く未来は明るく、復興への希望を感じます。



『俺だって子供だ！』
宮藤官九郎／著　文藝春秋

「子供が嫌い」「父親になるのが怖い」と書き始めた子育て日記。娘の誕生から３歳までの父の思いを赤裸々に記録、当初の思いとは裏腹に、娘への愛情が溢れる一冊となっています。

「家族」のかたち、思いはいろいろ。

『おじいちゃん』マーク・ジュリーほか／写真　春秋社
『白洲家の流儀』白洲 信哉／著　小学館
『西の魔女が死んだ』梨木 香歩／著　新潮社

『狂気の父を敬え』鈴木輝一郎／著　新潮社
『放蕩記』村山 由佳／著　集英社
『岸辺のふたり』
　マイケル・デュドク・ドゥ・ヴィット／作　くもん出版

イベントガイド（４月～６月）　全て参加無料

【読者のつどい】　互尊文庫１階 児童室　19:00～20:30

テーマの本の感想を話し合い、人生観や文学論などを自由に語り合う会です。

4/27（金）『幼年時代』トルストイ／著

5/25（金）『だいこん』山本 一力／著

6/22（金）未定

【子どもの本を読む会】（予定）　中央図書館２階 講座室２　10:00～11:30

子どもの本を好きな方が集って本の感想等を語り合う会です。

5/9（水）『エルマーのぼうけん』ルース・スタイルス・ガネット／作

6/13（水）瀬川康男の絵本『いないいないばあ』を中心に

【映画会】　中央図書館２階 講堂　14:00～

4/10（火）「闇の子供たち」（2008年日本、137分）

4/22（日）「ぐうたらバンザイ！」（1967年フランス、92分）

5/15（火）「五月のミル」（1990年イタリア・フランス、107分）

6/3（日）「掘るまいか」（2003年日本、83分）　10:00～

「阿賀に生きる」（1992年日本、115分）　13:30～

「阿賀の記憶」（2004年日本、55分）　15:45～

6/26（火）「ブルーゴールド」（2008年アメリカ、90分）

【エコ・ブックスフェア2012】

5月27日(日)　中央図書館２階　美術センター　9:00～12:00

※午前８時に整理券配布開始

不用になった図書を無料でお譲りします。一人10冊（予定）まで。

詳細は今後発行される市政だより、館内掲示物等をご覧ください。

【映画「この空の花」公開記念企画】

①特別資料エントランス展示

4/1（日）～　4/22（日）山下清「長岡花火」

4/24（火）～　5/13（日）水島爾保布「長岡花火大会」

②花火関連書籍テーマコーナー

5/30（水）まで郷土コーナーに設置しています。

図書館ニュース

◆新潟日報の過去記事探しは中央図書館におまかせ

中央図書館で閲覧できる外部データベースに、６月から「新潟日報記事データベース」が加わる予定です。

このデータベースは、平成16年（2004）４月から現在までに新潟日報に掲載された記事を検索することができます。

記事タイトルから本文中までを検索対象とできるため、曖昧なキーワードでも目的の記事を探すことができます。

他のデータベースを合わせて活用することで、より多くの情報を収集でき、知りたいこと以上の内容がきっとわかるはず！是非ご活用ください。



名　称	電　話	休　館　日
中央図書館	32-0658	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日　特別図書整理期間
互尊文庫	35-7981	毎週木曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日　特別図書整理期間
西地域図書館	27-4900	
南地域図書館	30-3501	
北地域図書館	22-7100	
中之島地域図書館	61-2165	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日　特別図書整理期間
寺泊地域図書館	75-5159	
寺泊地域図書館 大河津地区図書室	0256- 97-2497	
栃尾地域図書館	53-3005	
文書資料室	36-7832	互尊文庫と同じ
栃尾美術館	53-6300	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※展示替等による臨時休館あり

～～～～ あとがき ～～～～

春は芽生えの季節です。これから、皆様の中にはどんな芽が生まれるのでしょうか。躍動される皆様のこれからを、図書館は様々な本で応援します。　（渡辺 雄亮）

平成24年４月１日発行

編集・発行　長岡市立中央図書館

住　所　新潟県長岡市学校町1-2-2

編集員　諏佐 志保　渡辺 雄亮　山本 祐子
山田 紀子　岩本 純子　横山知加子

メールアドレス　lib@city.nagaoka.niigata.jp

HPアドレス　http：//www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

印　刷　北越印刷㈱